

画像処理・IoT技術を活用した 橋梁等のインフラ点検支援システムを開発しました

産業技術総合センター 情報技術部

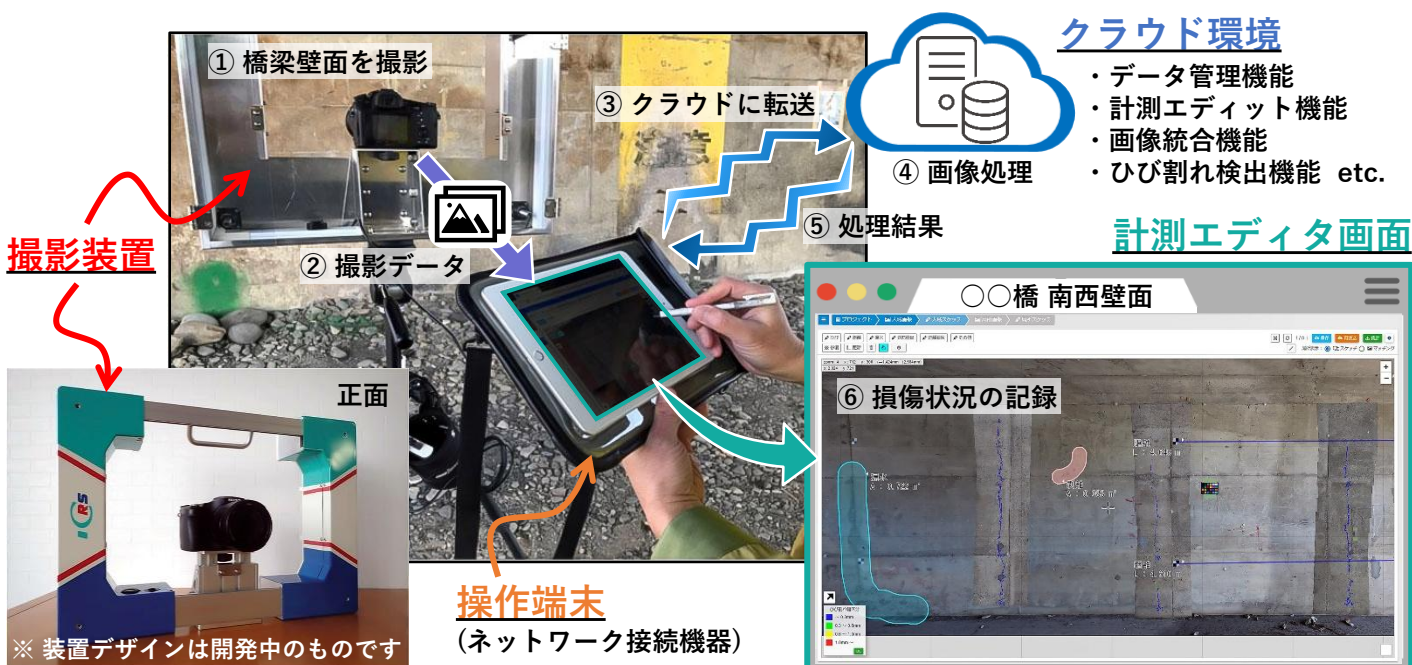
日 時 令和3年2月22日（月） 13:30～14:30
場 所 県庁6階 産業技術課 会議室

（発表の内容）

道路やトンネル、橋梁などの社会インフラの健全性を診断するため、構造物の定期的な点検が行われていますが、構造物の老朽化に伴う維持管理コストの増加により、点検に必要な人員や予算の確保が課題となっています。

そこで、産業技術総合センターが保有する画像処理やIoTに関する技術シーズを活用し、株式会社市川工務店（岐阜市）と共同で橋梁などのコンクリート構造物の壁面に発生するひび割れ等の損傷点検に関する支援システムの開発に取り組んできました。

本発表では、点検現場での作業を効率的かつ正確に実施できるインフラ点検支援システム「ICRS (Ichikawa Crack Record System)」について紹介させていただきます。



問い合わせ窓口：産業技術課 内線 3048
技術支援係長 安藤
技術支援係 細野

産業技術総合センター Tel 0575-22-0147
情報技術部長 平湯
研究員 生駒